

経営比較分析表（令和2年度決算）

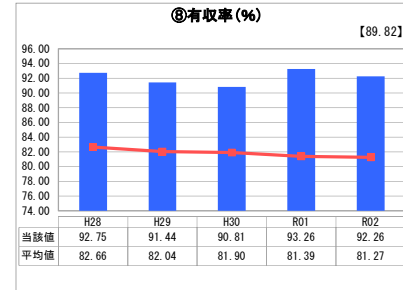
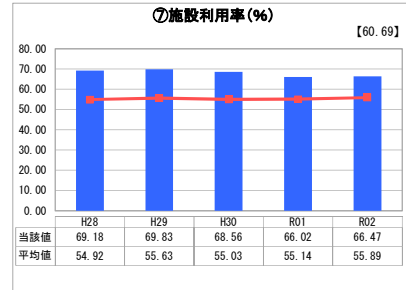
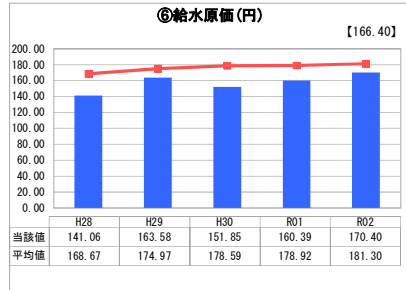
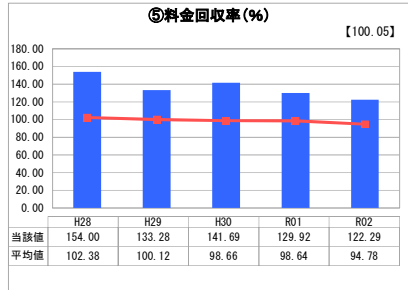
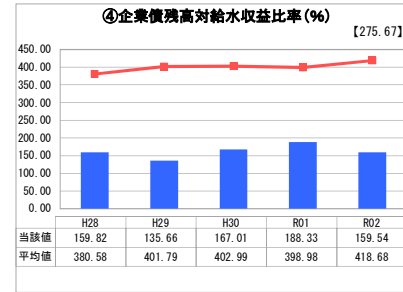
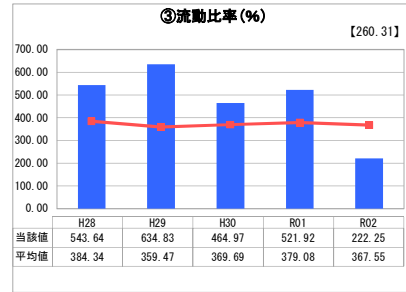
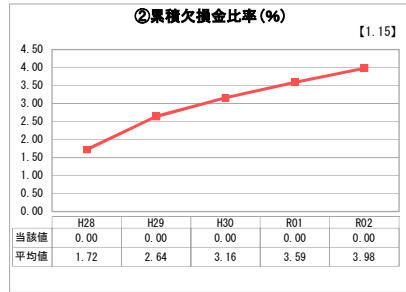
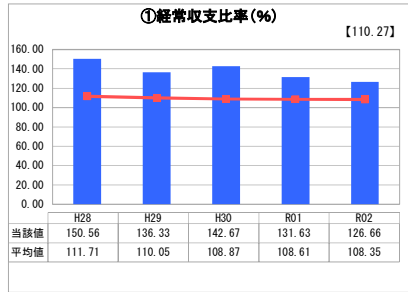
千葉県 酒々井町

業務名	業種名	事業名	類似団区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	83.73	93.75	3,740	

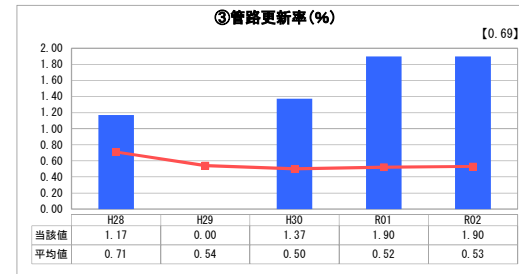
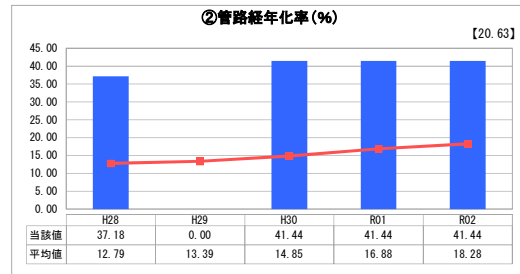
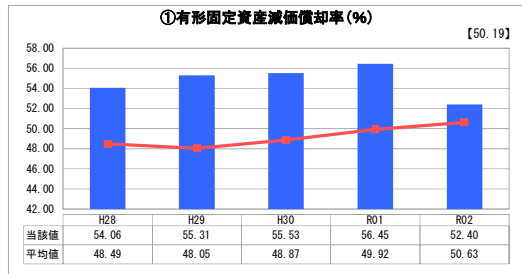
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,659	19.01	1,086.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,990	17.18	1,105.36

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、料金回収率ともに100%以上であり、有収率も全国平均と比べ、高い数値である。さらに、累積欠損金も発生しておらず、経営の健全性・効率性は良好な水準にあるといえる。今後は、少子高齢化等により収益の伸びが期待できなくなると考えられることから、より効率的な経営をしていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

昭和40年代後半から50年代にかけた宅地開発に伴い布設した管の老朽化が進み、耐用年数を迎えることになる。今後は、計画的に老朽管の更新や耐震化工事を進めていくことになる。

全体総括

現時点で経営状況は健全であり、安定しているといえる。しかしながら、少子高齢化等により給水量の増加は期待できず、収益の伸びは鈍くなるものと思われる。一方で管の老朽化が進み修繕や更新工事が増加していくことから、今後は町水道ビジョン等に基づき、計画的な経営や更新工事等をしていかなければならない。